のたらしむることは出来ない。これ等労働者自身に及ぼす対する指導者たる労働者の利益を守り得ないことをハッキリ意識づける宣伝（アジテーション）が出来ずあるのか。（アジテーションの斗方は既に発表したが、ここでは止める）アジ及び宣伝に基いさかれた行動し得る条件が無いのか。そこですかさず、行動への煽動（プロパガンダ）を果敢に並行せよ。煽動はとくに何がかうしたことをしれということを具体的に提示し、動いたのなし得ると云う信念を強めさせること。

このアジプロが対象者その効果を正しく実現し、行動を組織的に計画せねばならぬ。

その目標として立てた職場のアジプロを口頭、ビラ、ポスター、かべ新聞をたとえば機動的に行い班会、委員会議には於てこの問題を討論し、斗争委員会の問題たらしめると共に、この場合、この問題は現場労働者員自身の問題たることを知らしめ自主的に行動を討論せしめ、これを統一すること、今後の主要な組合員は、幹部一任、斗争委員会一任、即ち委員会附託の悪癖あるか故にもしこの方法をとれば斗争が失敗が切実である故あくまで大衆自身の運動としてやるべく注意すること。行動する時が決定したら、その規模の大小に関らず最初に予告し最後に十八日を目標として統一集中した一大行動を行わせよ。

行動は先づ検察官席の場所へ大衆動員すること。この（三字不明）動の際の検察官が組に従動員と言っても手帯の材料は一つの縦である。発展、労働下からん行くと云ふ段階で、段々組織に強張ることを訓練すべきである。最後の斗争目標十八日は極力総動員せしめ返させぬうちは断じて引上げぬと全員総検束に至る覚悟でかかれ。このかかりで電車が出ても出るや否や検束者は必らず奪還出来ず、

るのだ。此又近断然押進めなければならぬ。次に家族の動員、斗争への参加の件である。一家の生計者である者或は家族なる親族関係は斗争に参加する絶対の条件を具備してゐる。各職場の労資の下け抗議運動其他大衆行動の場合必ず其の家族を参加させることを忘れてはならぬ。なぜなら家族の強い力が勝つと正道を示せば直接家族にも生活防衛は向いく要求に従遅まり不許が今日のドン底に追い込まれるからだ。警官派遣に対する家族の一大抗議デーを加わせ運は計画して居る。この一大抗議に行わしむるために家族のアジプロ斗争の訓練等を実行しておくこと。

従業員会は家族総動員で白色テロルを粉砕しろ！！

二十二日よりストライキ決行せよ！！

東交では無産市民団無産政党の応援委員会を作ったと共に東京交通と共同斗争委員会が出来たと云ふさも強そう宣言をして居る。ところが実は一大事だ。インチキ無産党の奴等がこれ迄何をやったか。労働者を喰ひものにした以外に何もやってゐないではないか。戦斗的労働者を官犬を引渡してのかう無産斗争委員会が何になる。従道すあくまで自分自身の力で勝たねばならぬ。全従業員が統一した要求を持たねばならぬ。

ストライキの効果は生産機関を停止する時に発生する。交通のストライキは電車自動車を完全に停めることであって電車自動車をスキャップに譲り渡すことでは断じてないのだ。電車自動車を運転させない為には職場を占領することが絶対に必要だ。職場は従業の拠点だ。職場を擁して勝利を得るのだ。

先づスト前に左の準備を完全に遂行しておかねばならぬ。

(イ) 検束拘留によって連絡の切れた職場は必ず書記局への連絡を完全につけること。

(ロ) 日本交通の指令に基きストへのアジプロを敢勘に大胆に具体的に実行しストの指令が出た場合直ちに正しく左翼的に行動が出来るやうにしておくこと。

(ハ) 左のストライキの戦術を大衆にアッピールして下からの圧力でこの科学的な戦術を全体的に採用されるやう努力すること。

ストの方法は断然ストの形態を取り一段二段三段と云ふ高度の斗争に進展せしめて行くこと。ストは一時中断されても争議団員は家に戻しては成らぬ。争議が終るまでは必ず争議団に寝泊りすること。従来統制指導するか完全に行き渡るには最大限度一段を一ヶ所に宿泊せしめ出来なければ一職場一地区一ヶ所に宿泊すべきである。

（一）罷業一段の宿泊場所は前次で決定しておき、ストの指令が出た場合は制服で一たん争議団本部に詰めかけ朝八時を期して全員（家族他の者も）職場へ出動し職場を占拠し如何に強要されても断じて乗車せぬこと。乗車を強要される場合は制止、官犬が来ても大衆的に抗議し大衆の圧力で強要の出来ない様にさせること。官犬から追放された場合任力に抗争すること。検束者が出たら大衆の力で奪い返すこと。これはデモの側を見ても明かな様に全員が動して殺気立って居る中は容易に検束出来ない。事務員雇員もスキャップが電車自動車を運転させるとすれば大衆行動で決死的に防守すること。この場合全員検束の覚悟で大胆に行動せよ。差し迫った時力が発生して資本家当局も官犬も手がつけられなくなる。かうして午後八時決争議団本部へ